



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月27日

上場会社名 東邦チタニウム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5727 URL <https://www.toho-titanium.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山尾 康二
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部企画担当部長 (氏名) 留場 啓 TEL 045-394-5521
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 38,890 | 48.0 | 5,823 | 122.0 | 6,406 | 148.0 | 4,536 | 142.4 |
| 2022年3月期第2四半期 | 26,280 | 58.4 | 2,622 | 143.9 | 2,583 | — | 1,871 | — |

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 4,582百万円 (148.2%) 2022年3月期第2四半期 1,846百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | 63.74 | — |
| 2022年3月期第2四半期 | 26.30 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 99,020 | 51,106 | 51.5 |
| 2022年3月期 | 98,095 | 47,166 | 47.9 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 50,972百万円 2022年3月期 47,031百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | — | 6.00 | — | 9.00 | 15.00 |
| 2023年3月期 | — | 11.00 | — | — | — |
| 2023年3月期(予想) | — | — | — | 17.00 | 28.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|--------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 80,600 | 45.2 | 9,700 | 85.5 | 10,000 | 93.1 | 7,000 | 89.4 | 98.35 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2022年10月27日）公表いたしました「2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年3月期2Q | 71,270,910株 | 2022年3月期 | 71,270,910株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期2Q | 98,409株 | 2022年3月期 | 98,309株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年3月期2Q | 71,172,544株 | 2022年3月期2Q | 71,172,705株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料、決算説明会内容の入手方法）

・決算説明会は、2022年11月14日に開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (会計方針の変更) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られました。

世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う原材料価格、エネルギー価格の高騰が継続しており、物価上昇率は高水準で推移し、インフレ抑制のための各国中央銀行による政策金利の引き上げなどにより、景気回復の停滞が懸念される状況にあります。

当社グループを取り巻く事業環境は、チタン製品の販売が好調に推移した一方、原材料や副資材価格の高止まり、エネルギーコストや輸送コストの上昇等が収益を圧迫する要因となりました。

こうした中、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高388億90百万円(前年同期比48.0%増)、営業利益58億23百万円(同122.0%増)、経常利益64億6百万円(同148.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益45億36百万円(同142.4%増)となりました。

セグメントごとの業績は次の通りであります。

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価し管理するため、主に新規事業の創出・推進のための研究開発に関わる一般管理費を除く、全社共通の一般管理費用を合理的な基準に基づきセグメントごとに配賦する方法に変更しています。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の算定方法に基づき作成したものを記載しています。

金属チタン事業

当第2四半期連結累計期間における金属チタンの販売は、航空機向け、一般産業向けともに旺盛な需要により堅調に推移しました。航空機向けは旅客需要の回復傾向を背景にした需要増にロシア製展伸材からの代替需要が加わっており、一般産業用途、半導体用途向け高純度チタンの需要も引き続き堅調に推移しています。そのため、当社は在庫も含めた国内からの出荷に加えサウジアラビアの合弁会社からの供給で対応しております。

収益面では、原料鉱石、副資材費の高騰によるコスト上昇が顕在化し始め、予断を許さない状況が続くものの、当第2四半期においては、出荷量増、一部顧客の価格は正、為替円安、上昇コストの原価への反映のタイムラグなどの要因により、同期間の金属チタン事業は、売上高は266億82百万円(前年同期比87.2%増)、営業利益は34億69百万円(前年同期は5億21百万円の損失)となりました。

触媒事業

当第2四半期連結累計期間における触媒事業の販売は、中国の景気減速を受け、アジアにおけるポリオレフィン用触媒の需要が軟化しており、販売量は前年同期を下回る水準となりました。

こうした状況のもと、販売量の減少はありましたが、価格は正及び為替円安の影響により、同期間の触媒事業は、売上高は43億68百万円(前年同期比10.1%増)、営業利益は16億40百万円(同21.5%増)となりました。

化学品事業

当第2四半期連結累計期間における化学品事業の販売は、主要製品である超微粉ニッケルの主な用途である積層セラミックコンデンサー(MLCC)の需要減や、米国の利上げや中国のロックダウンに起因する経済停滞等の影響により、販売量は前年同期を下回る水準となりました。

こうした状況のもと、同期間の化学品事業は、売上高は78億39百万円(前年同期比2.7%減)、営業利益は13億13百万円(同40.7%減)となりました。

セグメント別連結売上高

(単位：百万円)

| 区分 | 2023年3月期 第2四半期 | 2022年3月期 第2四半期 | 増減率 |
|---------|-------------------|-------------------|-------|
| 金属チタン事業 | 26,682 | 14,253 | 87.2% |
| 触媒事業 | 4,368 | 3,967 | 10.1% |
| 化学品事業 | 7,839 | 8,060 | △2.7% |
| 合計 | 38,890 | 26,280 | 48.0% |

セグメント別連結営業利益

(単位：百万円)

| 区分 | 2023年3月期 第2四半期 | 2022年3月期 第2四半期 | 増減率 |
|---------|-------------------|-------------------|--------|
| 金属チタン事業 | 3,469 | △521 | —% |
| 触媒事業 | 1,640 | 1,349 | 21.5% |
| 化学品事業 | 1,313 | 2,214 | △40.7% |
| 全社費用 | △600 | △420 | — |
| 合計 | 5,823 | 2,622 | 122.0% |

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現預金、棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末比9億24百万円増の990億20百万円となりました。

負債の部は、借入金の減少を主因に、前連結会計年度末比30億14百万円減の479億13百万円となりました。

純資産の部は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末比39億39百万円増の511億6百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の47.9%から51.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は40億3百万円と期首に比べ18億75百万円の増加となりました。キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、87億90百万円の収入となりました。これは減価償却費31億90百万円、仕入債務の増加12億84百万円の資金増加要因の一方で、棚卸資産の増加10億62百万円等の資金減少要因があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、17億39百万円の支出となりました。これは有形固定資産の取得による支出18億49百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、52億25百万円の支出となりました。これは借入金の返済等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、2022年5月10日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正致しました。詳細につきましては、本日(2022年10月27日)公表の「2023年3月期 第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,128 | 4,003 |
| 受取手形及び売掛金 | 10,340 | 10,718 |
| 電子記録債権 | 108 | 169 |
| 商品及び製品 | 15,440 | 17,534 |
| 仕掛品 | 8,125 | 8,462 |
| 原材料及び貯蔵品 | 11,630 | 10,261 |
| 未収入金 | 978 | 684 |
| その他 | 575 | 848 |
| 貸倒引当金 | △70 | △64 |
| 流動資産合計 | 49,258 | 52,619 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 14,002 | 13,704 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 19,225 | 18,031 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 261 | 273 |
| 土地 | 2,219 | 2,408 |
| リース資産（純額） | 2,099 | 1,947 |
| 建設仮勘定 | 7,595 | 7,705 |
| 有形固定資産合計 | 45,404 | 44,070 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 1,045 | 918 |
| ソフトウェア仮勘定 | 180 | 221 |
| その他 | 30 | 26 |
| 無形固定資産合計 | 1,255 | 1,167 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6 | 6 |
| 関係会社株式 | 202 | 203 |
| 繰延税金資産 | 1,305 | 314 |
| 退職給付に係る資産 | 416 | 420 |
| その他 | 248 | 219 |
| 貸倒引当金 | △1 | △1 |
| 投資その他の資産合計 | 2,177 | 1,163 |
| 固定資産合計 | 48,837 | 46,400 |
| 資産合計 | 98,095 | 99,020 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,061 | 5,344 |
| 短期借入金 | 20,680 | 18,103 |
| リース債務 | 461 | 335 |
| 未払法人税等 | 323 | 905 |
| 賞与引当金 | 1,256 | 1,141 |
| 役員賞与引当金 | 154 | 123 |
| その他 | 2,680 | 2,512 |
| 流動負債合計 | 29,617 | 28,466 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 17,472 | 15,696 |
| リース債務 | 1,815 | 1,711 |
| 資産除去債務 | 2,023 | 2,039 |
| 固定負債合計 | 21,311 | 19,447 |
| 負債合計 | 50,928 | 47,913 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 11,963 | 11,963 |
| 資本剰余金 | 13,022 | 13,022 |
| 利益剰余金 | 22,389 | 26,285 |
| 自己株式 | △77 | △77 |
| 株主資本合計 | 47,297 | 51,193 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 繰延ヘッジ損益 | 10 | 19 |
| 為替換算調整勘定 | △421 | △371 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 145 | 130 |
| その他の包括利益累計額合計 | △266 | △220 |
| 非支配株主持分 | 135 | 133 |
| 純資産合計 | 47,166 | 51,106 |
| 負債純資産合計 | 98,095 | 99,020 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 26,280 | 38,890 |
| 売上原価 | 19,840 | 27,610 |
| 売上総利益 | 6,440 | 11,279 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,817 | 5,455 |
| 営業利益 | 2,622 | 5,823 |
| 営業外収益 | | |
| 為替差益 | 36 | 627 |
| 物品売却益 | 14 | 20 |
| 持分法による投資利益 | 5 | 5 |
| その他 | 23 | 18 |
| 営業外収益合計 | 80 | 673 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 89 | 83 |
| 支払補償費 | 27 | - |
| その他 | 3 | 6 |
| 営業外費用合計 | 120 | 90 |
| 経常利益 | 2,583 | 6,406 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | - | 1 |
| 特別利益合計 | - | 1 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 38 | 4 |
| 特別損失合計 | 38 | 4 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,544 | 6,402 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 311 | 871 |
| 法人税等調整額 | 361 | 994 |
| 法人税等合計 | 673 | 1,866 |
| 四半期純利益 | 1,871 | 4,536 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △0 | △0 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,871 | 4,536 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,871 | 4,536 |
| その他の包括利益 | | |
| 繰延ヘッジ損益 | △7 | 9 |
| 為替換算調整勘定 | △2 | 50 |
| 退職給付に係る調整額 | △14 | △14 |
| その他の包括利益合計 | △24 | 45 |
| 四半期包括利益 | 1,846 | 4,582 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,846 | 4,582 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △0 | △0 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,544 | 6,402 |
| 減価償却費 | 2,942 | 3,190 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 242 | △114 |
| 退職給付に係る資産の増減額 (△は増加) | △9 | △4 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1 | △1 |
| 支払利息 | 89 | 83 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △5 | △5 |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | - | △1 |
| 固定資産除却損 | 38 | 4 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △1,571 | △439 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | 30 | △1,062 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 800 | 1,284 |
| 未収入金の増減額 (△は増加) | 706 | 160 |
| その他 | 658 | △321 |
| 小計 | 6,465 | 9,175 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3 | 6 |
| 利息の支払額 | △87 | △84 |
| 法人税等の支払額 | △267 | △307 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 6,114 | 8,790 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △6,235 | △1,849 |
| 有形固定資産の売却による収入 | - | 1 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △113 | △25 |
| 補助金の受取額 | - | 133 |
| その他 | △0 | 0 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △6,349 | △1,739 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △300 | △3,100 |
| 長期借入れによる収入 | 3,000 | - |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,230 | △1,252 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| リース債務の返済による支出 | △238 | △230 |
| 配当金の支払額 | △427 | △640 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | - | △1 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 804 | △5,225 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △2 | 50 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 566 | 1,875 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,534 | 2,128 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,101 | 4,003 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、時価をもって四半期連結貸借対照表価額とする金融商品を保有しておらず、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注2) |
|-----------------------|-------------|-------|-------|--------|-------------|---------------------------|
| | 金属チタン 事業 | 触媒事業 | 化学品事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 14,253 | 3,967 | 8,060 | 26,280 | — | 26,280 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 958 | — | 2 | 960 | △960 | — |
| 計 | 15,212 | 3,967 | 8,062 | 27,241 | △960 | 26,280 |
| セグメント利益又は損失(△) | △521 | 1,349 | 2,214 | 3,043 | △420 | 2,622 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△420百万円は、主に報告セグメントに帰属しない新規事業の創出・推進のための研究開発費及びこれらに関わる一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注2) |
|-----------------------|-------------|-------|-------|--------|-------------|---------------------------|
| | 金属チタン 事業 | 触媒事業 | 化学品事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 26,682 | 4,368 | 7,839 | 38,890 | — | 38,890 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 1,045 | — | 2 | 1,047 | △1,047 | — |
| 計 | 27,728 | 4,368 | 7,842 | 39,938 | △1,047 | 38,890 |
| セグメント利益 | 3,469 | 1,640 | 1,313 | 6,423 | △600 | 5,823 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△600百万円は、主に報告セグメントに帰属しない新規事業の創出・推進のための研究開発費及びこれらに関わる一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価し管理するため、主に新規事業の創出・推進のための研究開発に関わる一般管理費を除く、全社共通の一般管理費用を合理的な基準に基づきセグメントごとに配賦する方法に変更しています。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の算定方法に基づき作成したものを記載しています。